

# 豊富町のあゆみ

- 明治3年 「ワッカサクナイ」に官営宿泊所設置
- 明治11年 沙流村(豊富村)の名が生まれる
- 明治36年 梅村庄次郎12戸の岐阜団体を率いて兜沼入植
- 大正8年 幌延、沙流(豊富)が合併し幌延村となる  
(人口5,349人 戸数989戸)
- 大正15年 宗谷線稚内ー兜沼間開通、石油試掘中温泉噴出
- 昭和7年 ガス利用の発電所建設(温泉)
- 昭和12年 日曹鉱業所開鉱
- 昭和15年 幌延村より分村、豊富村となる  
(人口7,521人 戸数1,291戸)
- 昭和22年 山形より庄内開拓団入植
- 昭和23年 行政区間変更により宗谷支庁に所属
- 昭和34年 町制を施行し「豊富町」となった
- 昭和37年 サロベツ原野2千町歩の土地改良事業開始
- 昭和45年 (人口8,662人 戸数2,045戸)
- 昭和47年 日曹炭鉱閉山
- 昭和49年 利尻礼文サロベツ国立公園認可
- 昭和59年 郷土資料室開設
- 平成3年 町制施行30周年記念式典
- 平成7年 (人口5,504人、戸数1,915戸)
- 平成14年 豊富町100周年記念式典
- 平成23年 サロベツ湿原センターオープン
- 平成25年 豊富町定住支援センター「ふらっと☆きた」オープン
- 平成29年 湯の杜ぼっけオープン
- 令和2年 豊富資料室が町民センター内に移転オープン  
(10.24)



# ようこそ

豊富町郷土資料室は、昭和59年に経済や生活様式の近代化に伴って、貴重な開拓資料が散逸することを心配した故斉藤丑蔵氏や郷土研究会が中心となって旧豊富中学校寄宿舎に資料室として展示・保存活動を始めました。

豊富中学校の移転改築により資料室は解体され、平成17年より令和2年まで旧給食センターにて資料室を運営し、郷土研究会の熱心な展示作業・説明・保存など様々なご尽力を賜りました。

現在は、豊富町民センター内へと移動し、まだまだ発展途上の段階ではありますが、歴史深い「血と汗の苦闘」を多くの方々に学んでいただければ幸いです。

豊富町長 河田 誠一



## 豊富町郷土資料室 豊富資料室

郷土の歴史を創ってきた  
先人たちの足跡をたどってみませんか

天塩郡豊富町字上サロベツ2010番地  
豊富町民センター内

開館時間

午前10:00時～午後16:00時まで

休館日

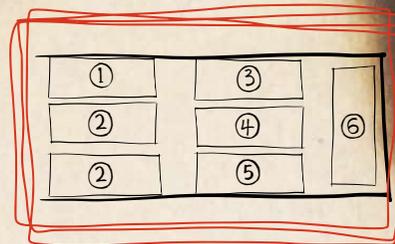
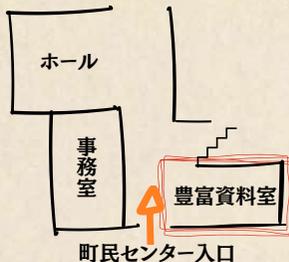
毎週月曜日



### 豊富資料室展示ブース

- ①日曹炭鉱の思い出
- ②開拓・入植の道具
- ③暮らしのなかから
- ④先史時代の贈り物
- ⑤色褪せた郵便屋
- ⑥歴史をしるした文献

### 館内地図



### 豊富資料室

展示配置図

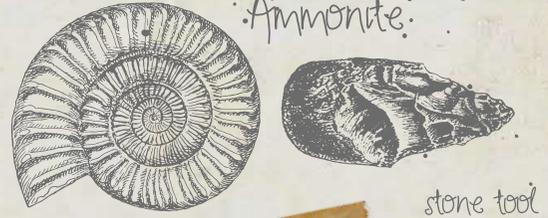
# 展示内容の紹介



日曹炭鉱の思い出



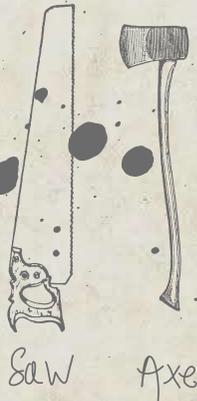
暮らしのなかから



歴史をしるした文献



開拓・入植の道具



先史時代の贈り物



色褪せた郵便屋